

高美小プランシート

場所： 4年教室

1. 「はてなをもとめて、自ら学びに向かう力の育成」に関わって

- ・児童からめあてを引き出すために、気づきを黒板に整理する(めあて2)
- ・課題解決や目標達成のために必要な時間数や学習内容を知り、学習の見通しをもたせるとともに、学習意欲を高めるような物語形式の「算数クエスト」を使う。(見通す2)
- ・単元を通して前時のふり返りを確認する(振り返る2)
- ・本時で自分が分かったことやできたこと、単元目標に向けて考えたことの理由を「なぜなら」などの接続語を用いて書くことができるよう、R80を意識させる。(振り返る3)

2. 単元名(教科)

割合(算数)

3. 単元の目標

- ・2つの数量の関係について、整数の場合で何倍になるかという割合を用いて数量を求めることができる。
- ・日常の事象における数量の関係において、割合を用いて比較したり、活用したりすることができる。
- ・割合の意味とそれを用いる場面について理解するとともに、生活や学習に活用しようとする態度を養う。

4. 単元の評価規準

- ・複数の事象の数量の関係を比べるときに、割合を用いるとよい場合があることを理解し、割合、比べる量、もとにする量を求めている【知識・技能】
- ・日常の事象における数量の関係に着目し、割合を用いて比べたり、割合、比べる量、もとにする量の求め方を考えたりしている【思考・判断・表現】
- ・割合の学習に進んで関わり、ふり返りを通して数量の関係を割合で表すことや何倍になるかをまとめて考えることのよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている【主体的に学習に取り組む態度】

5. 単元計画(全5時間)

第1次	第1時	ある2つの数量の関係と別の2つの数量の関係を比べる場合に、割合を用いる場合があることを知る
	第2時	何倍かの関係にある2量のうちの一方がわからない場面で、比べる量を求めることができる
第2次	第3時 (本時1)	何倍かの関係にある2量のうちの一方がわからない場面で、もとにする量を求めることができる
	第4時 (本時2)	$\square \times a \times b = c$ の場面で、順に考えて解く方法と、何倍になるかに着目してまとめて考えて解く方法の2通りの考え方がわかる
	第5時	$\square \times a \times b = c$ の場面で、何倍になるかに着目してまとめて考える方法で解くことができる

6. 本時1の目標

何倍かの関係にある2量のうち的一方がわからない場面で、もとにする量を求めることができる。

【思考・判断・表現】

7. 本時1の展開

	学習活動	指導上の留意点	評価規準・評価方法
3分	1. 前時の学習をふりかえる	前時で扱った図を思い出せるよう、ふりかえりを確認する	
3分	2. 問題をつかむ		
3分	3. 本時のめあてをたてる		
	図を使って宝箱を見つけよう		
3分	4. 1人で考える	・大、中、小の宝箱のうち2つを選んで関係図にあらわし、視覚的にとらえやすくする	
5分	5. 自分に合った方法で考える	・自分に合った方法を選べるよう図を提示する	
10分	6. 全体で考える		
10分	7. 練習問題をとく	ふりかえりの型を提示する。	既習内容をもとに考えて説明している【思考・判断・表現】(ノート)
8分	8. ふりかえる		

8. 本時1の評価基準(ルーブリック)

十分満足できる(A)	おおむね満足できる(B)	努力を要する状況への支援
何倍になるかに着目して順に考えて解く方法の説明を書いている。	何倍になるかに着目して順に考えて解く方法を考えている。	関係図やテープ図を使った図をみせ、解く方法を考えられるようにする。

9. 本時2の目標

$\square \times a \times b = c$ の場面で、順に考えて解く方法と、何倍になるかに着目してまとめて考えて解く方法の2通りの考え方があることがわかる。【思考・判断・表現】

10. 本時2の展開

	学習活動	指導上の留意点	評価規準・評価方法
3分	1. 前時の学習をふりかえる	前時で扱った図を思い出せるよう、ふりかえりを確認する	
3分	2. 問題をつかむ		
3分	3. 本時のめあてをたてる		
図を使って本物の金のかぎをみつけよう			
3分	4. 1人で考える	・金、銀、銅のかぎを関係図にあらわしたり、色別に分けたりすることで視覚的にとらえやすくする ・自分に合った方法を選ぶよう図を提示する	
5分	5. 自分に合った方法で考える		
10分	6. 全体で考える		
10分	7. 練習問題をとく	ふりかえりの型を提示する。	既習内容をもとに考えて説明している【思考・判断・表現】(ノート)
8分	8. ふりかえる		

11. 本時2の評価基準(ルーブリック)

十分満足できる(A)	おおむね満足できる(B)	努力を要する状況への支援
$\square \times a \times b = c$ の場面で、順に考えて解く方法と、何倍になるかに着目してまとめて考えて解く方法の2通りの説明を書いている。 また、それを生活でいかせるかを考えてふりかえりに書いている。	$\square \times a \times b = c$ の場面で、順に考えて解く方法と、何倍になるかに着目してまとめて考えて解く方法の2通りの説明を書いている。	関係図やテープ図を使った図をみせ順に考えて解く方法を考えられるようにする